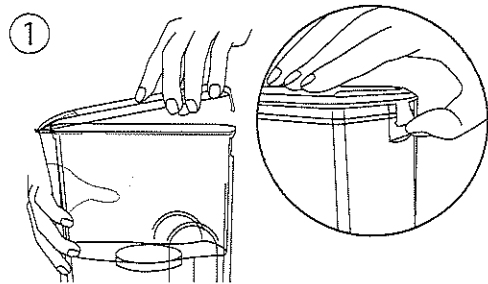
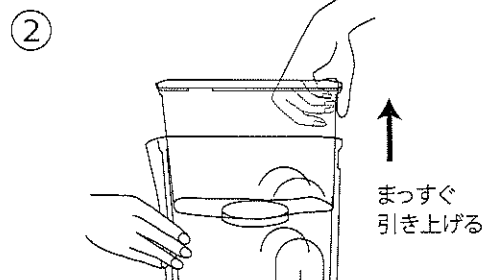


ご使用方法

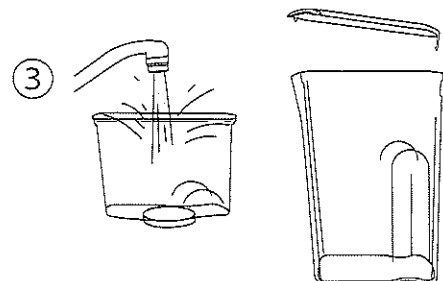
1 ご使用前の準備



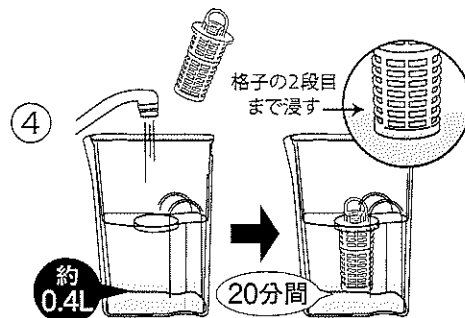
フタロック（注ぎ口の反対側）を外すようにして、フタを引き上げるとフタが外れます。（フタをはめる場合は、フタの前と後ろを原水タンクの前（注ぎ口）と後ろに合わせて、押し込むようにはめ込みます）



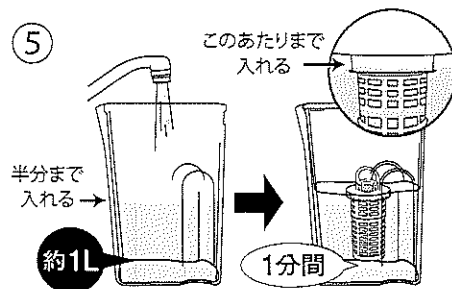
原水タンクは後部（注ぎ口の反対側）を持って引き上げるように、外してください。



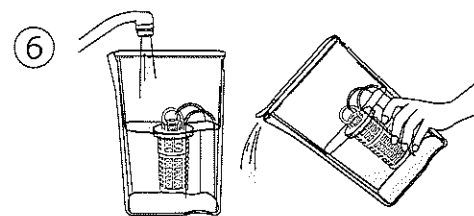
浄水タンク・原水タンクを水道水でよく洗浄します。（カートリッジは中性洗剤などで洗わないでください。）



カートリッジをセットする前に浄水タンクに約0.4Lの水道水を入れます。その後カートリッジをセットして、20分間水道水に浸します。



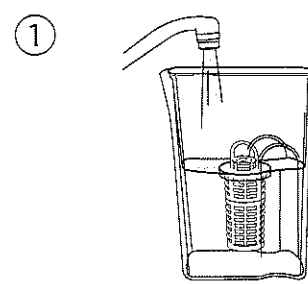
原水タンクを取り外し、浄水タンクに約1.0Lの水道水を入れもう一度原水タンクをセットし、約1分間カートリッジ全体を水道水に浸します。（殺菌消毒のため）1分後、タンクの水を全て捨ててください。



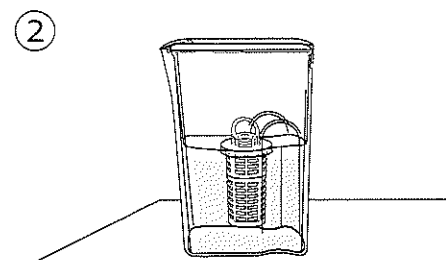
原水タンクに水道水を入れます。本体を安定した場所に置き、全て浄水します。原水タンクの水が全てろ過され浄水タンク内に浄水が溜まったら捨ててください。

⑦ ⑥の作業をもう1度繰り返してください。

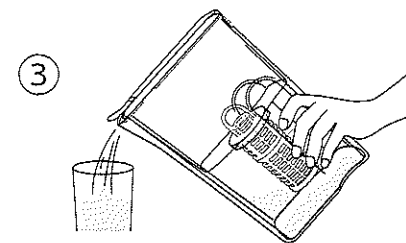
2 ご使用方法



原水タンクに水道水を入れます。

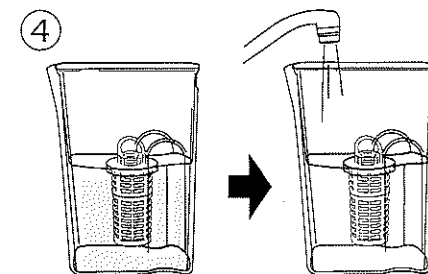


本体を安定した場所に置き、ろ過します。（原水タンクの水が全てなくなり浄水されるまでお待ちください）



※原水タンクに水が残っていると水がこぼれることがあります。

原水タンクの水が全てろ過され浄水タンク内に浄水が溜まったらご使用いただけます。

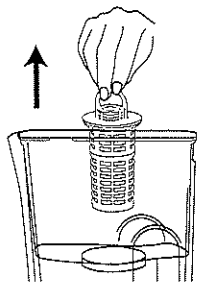


浄水タンクに溜まった浄水を使いきってから原水タンクに水道水を入れてください。（浄水が残っている状態で水道水をつぎ足すと、浄水しきれない水がこぼれることがあります）

ろ過流量の0.2L/分は、カートリッジが十分に水になじんだ状態において、JISの試験方法に従って測定した結果です。新しいカートリッジやカートリッジが乾燥している場合は、表示のろ過流量になるのは、使用開始してからしばらくたってからになりますのでご了承ください。通常は1Lあたり約5分でろ過しますが、水温・水質・季節・地域などにより、ろ過に時間がかかる場合があります。

3 カートリッジの交換方法

①



ご使用済みのカートリッジの上部のリングを
ひっぱり、原水タンクから外します。

②

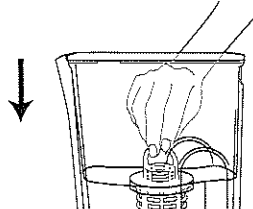
新しいカートリッジを袋から取り出します。

③

3-1「ご使用前の準備」の
④～⑥の作業を行います。

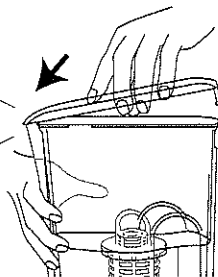
注意点

少し強めに押してください。



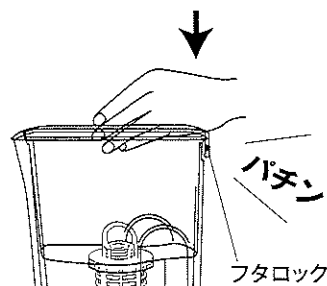
④

先端を
合わせる



フタを浄水タンクの先端に合わせて
はめ込んでください。

⑤



矢印方向にフタを押してフタロックを
はめてください。

4 カートリッジの交換時期について

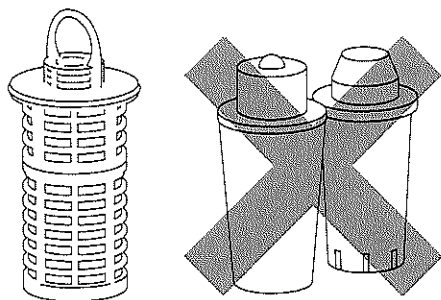
交換時期の目安は使用水量・水質・水温・地域などの使用状況により異なります。1日2L使用した場合、約6ヶ月が交換時期の目安です。

ご使用済みのカートリッジは可燃性廃棄物（プラスチックゴミ）ですが、廃棄方法に関しては、お住まいの市区町村の条例やルールに従った方法で分別廃棄をお願いします。

次の場合は早めに交換してください。

- ① 浄水に塩素臭（カルキ臭）がする場合
- ② 2週間以上使用しなかった場合

カートリッジは必ず純正のものをお使いください。他社のカートリッジをご使用された場合は、本体が保証期間内であっても有償となり、保証対象外となりますので、ご注意ください。



カートリッジで除去できるもの

- 遊離残留塩素
- 溶解性鉛
- CAT(農薬)
- 濁り
- 2-MIB(カビ臭)
- 総トリハロメタン
- クロロホルム
- プロモジクロロメタン
- ジブロモクロロメタン
- プロモホルム
- テトラクロロエチレン
- トリクロロエチレン
- 1,1,1-トリクロロエタン

●水に溶け込んでいる塩分(海水)、ミネラル(カルシウム・マグネシウム)などの成分は除去できません。